

この教材の伝えたいことを一言で言うと



## 他動詞は do, 自動詞は be, become ぽくなることが多々ある

以下の文はそんなに難しい単語を使っていませんが、理解するときにちょっとつまるかもしれません。また、読めても自力で以下のようなスペイン語を書けない・言えないという人は中級レベルでも結構いるのではないかと思います。

1. Ella **dio** un paseo por el parque. / 彼は公園を散歩した (×散歩を与えた)
2. **Tuve** una conversación con ellos. / 私は彼らと会話をした (×会話を持った)
3. Ellas **van** muy elegantes. / 彼女たちはとてもエレガントだ (×エレガントに行ってる)

上記のケースではいずれも、動詞が本来の意味を失っているという点で共通してます。つまり、Dar は本来「与える」という動詞ですが、そうなっていません。同様に tener は所有を、ir は移動を表していません。この場合、dar, tener はむしろ日本語の「～をする」、ir は「～である」に近いです。このように、動詞が本来の意味を失って、「～する」、「～である」のようになる現象を *desemantización* 「脱意味化」といいます (この用語は別に覚えなくてもいいです)。

この「脱意味化」という用語、現象を学習者が教えられることはまずないのですが、つたぴの的には極めて重要な現象です。なぜならよく使う動詞ほど脱意味化しますし、脱意味化の頻度は往々にしてかなり高いからです。よく使う動詞を正しく、様々な形で使えるようになるためにはこの辺りの現象をきっちり理解しておくことは不可欠です。デキるスペイン語ユーザーはよく使う単語を使い倒します。そのための訓練としてどうぞ。

どうも普遍的な現象らしい

いうまでもなく、英語でも脱意味化という現象は頻繁に観察されます。

A) He took a walk in the park. / ×彼は公園で散歩をとった→散歩をした

B) I had a conversation with them. / ×私は彼らと会話を持った→会話をした

ネイティブやっていると気づきづらいのですが、日本語でも脱意味化はバンバンおきます。スペイン語だけでなく、人間の言語全般で起きる現象というところでしょうか。

イ) 一発かまそうぜ（噛ます）

ロ) 授業、うまくいかなかったな……（行く）

ハ) 彼はオタ芸をうつために部活をやめた（打つ）

ニ) いつやるの？いまでしょ（遣る）

### よく使う動詞ほど意味を失う

この脱意味化を私がやたら推してるのは（脱意味化がらみで 6 本論文書いてもうた）、先述のとおり、よく使う動詞ほど意味を失うからです。例えば、以下の表はスペイン語でよく使う動詞 TOP 10 をまとめたものですが、なんとそのうちの 9 が何らかの形で脱意味化します（decir のみしない）。Ser, haber, estar などは、脱意味化しているのがむしろ基本で、本来の意味で使うことの方が稀という有様です。デカルト先生の「考える故に我あり」は、スペイン語では Pienso luego **soy**. 英語では I think therefore I **am**. です。ここでの用法のように、ser にしろ、be にしろ、本来は「存在する」という意味なのですが、ご存知の通り、この存在という意味を失ったうえで、Yo soy estudiante. のような、「＝記号」風に使うことが圧倒的に多いわけです。

	語彙的意味	脱意味化
ser	存在	～デアル、ナル
haber	所有	助動詞
tener	所有	～スル
poder	可能	助動詞
estar	所在	～デアル
hacer	創造	～スル、ナル
decir	発言	<b>なし</b>
ir	移動	～デアル
ver	視覚	～デアルヨウダ
dar	譲渡	～スル

スペイン語のよく使う動詞 TOP 10 と脱意味化

## よくある脱意味化パターン

スペイン語では実に様々な動詞が様々な形で脱意味化をします。とりあえず、以下に典型的なパターンを簡単に紹介しておきます。

### ① 他動詞 + 動作・状態を表す名詞 = ～する（軽動詞）

タイトルの通り、他動詞が動作とか状態を表す名詞を目的語にすると do, または「～する」という感じになります。このパターンになりやすいのが、tener, hacer, dar, tomar あたりです。ただし、いずれも独自の使い方があり、使い分けを覚える必要があります。

#### Tener

元が「持っている」という状態を表す動詞なので、状態を表す名詞と相性がいいです。

- 状態を表す名詞: duda ‘疑う’, intención ‘意図する’, cuidado ‘注意する’
- 相互のコミュニケーション: conversación ‘会話をする’, fiesta ‘パーティーをする’

**Ten mucho cuidado.**

よく注意せえよ。

使い分けを覚える必要がある、というのは、これらの名詞は tener とは使えるものの、他の動詞とは食い合わせが悪いということがあるためです。例えば、tener cuidado というのはごくごく自然なスペイン語ですが、dar cuidado, hacer cuidado とすると不自然です。「状態を表す名詞は tener」という形で覚えていきましょう。

#### Dar

- 目的地のない移動: vuelta ‘散歩’, paso ‘一歩’, paseo ‘散歩’
- 情報の伝達: respuesta ‘返事’, explicación ‘説明’, clase ‘授業’
- 動作の開始: comienzo ‘始める’, inicio ‘始める’

**Hemos dado un comienzo a la investigación** para localizar a los responsables

我々は責任者を発見するための調査を開始した。

#### Tomar

- 決心系: decisión, determinación
- 休み系: vacaciones ‘休暇’, respiro ‘深呼吸’, baño ‘入浴’

**Tomaron una decisión** definitiva.

彼らは最終的な決心をした。

英語では「決心する」は take ではなく、make と使うのでした。英語できる人はこの辺りで結構間違えるので注意。

### Hacer

- 上記以外のタイプの名詞はたいてい hacer とセット。使用頻度の特に高いものは以下。
- referencia ‘言及’, cosa ‘thing’, uso ‘使用・利用’, daño ‘害、ダメージ’, esfuerzo ‘努力’, trabajo ‘仕事、課題’, clic ‘クリック’, entrega ‘提出’, prueba ‘試験’

Haz clic aquí.

ここをクリックしてね。

### ② 自動詞 + 補語 = 〜である、〜になる、be, become

一方、自動詞は補語（形容詞や過去分詞）と一緒に使うと be, become のようになる場合があります。以下のパターンは特に頻出なので押さえておきましょう。非母語話者がスペイン語を話したり書いたりするときは、ser, estar を使いすぎる傾向があります。母語話者は ser, estar の代わりに、適宜 ir や seguir などを使っています。

### である・be 型

#### Ir (ほぼ estar と同じ)

- +方向を表す補語で「〜むけ、〜のためである」: destinado, dirigido

Esta clase **va dirigida a** los estudiantes de español.

この授業はスペイン語の学生むけのものである。

- 外見を表す補語: guapo, elegante, acompañado ‘accompanied’

Hoy, **vas muy guapo**.

今日、君むっちゃ格好いいな。

### Seguir

- 「〜のままである」
- vivo ‘生きている’, vigente ‘有効’, intacto ‘触れられていない’, fiel ‘誠実’

Palpatine **sigue vivo**.

パルパティーンはまだ生きている。

### なる・become 型

スペイン語には become にあたる動詞が存在しません。そのため、「～になる」ということを表したい場合は、poner や hacer, volver の再帰形を使って変化を表します。この三種類が代表例ですが、やはり、それぞれにそれぞれの使い方があります。大雑把な使い分けを覚えておくだけでもだいぶ違うでしょうから覚えておいてください。

**Ponerse:** Estar の補語と共起。故に「(～な状態に) なる」

- colorado ‘赤面’, triste ‘悲しい’, alegre ‘楽しい’, pesado ‘(人として) めんどくさい’

A veces él **se pone muy pesado**.

たまに彼はものすごくめんどくさくなる。

**Hacerse:** Ser の補語と共起。故に「(～な性質に) なる」

- rico ‘お金持ち’, famoso ‘有名’, fuerte ‘強い’, mayor ‘年上、大きい’
- ser のナル版なので、名詞と使ってもよい。Ex. Me hice millonario.

**Te has hecho muy fuerte.**

お前強くなったな。

**Volverse:** ser, estar の両方の補語と共起。ややこしい。とりあえず、以下のものを。

- Loco ‘頭おかしい’, popular ‘人気のある’, agresivo ‘攻撃的’, lento ‘ゆっくり’

El brasileño **se volvió loco** tras marcar el primer gol con el Barça en la Liga de Campeones.  
そのブラジル人選手はチャンピオンズリーグでバルサ相手に初めてのゴールを決めて  
頭おかしい感じになった (大喜びした)

訳しましょう

1. 昨日公園を散歩している時に、私は急に (de repente) 楽しくなった。
2. なんかあいつ、今日むっちゃ格好いいな。
3. え、俺は、あいつが格好いいとは思わないな。

4. 彼女はまだ生きているかなあ。僕たちに返事をしてほしいよ。

5. 決めた。来年はもっと難しい授業をするぞ。

6. 彼は私に将来お金持ちになると言った。

7. 君がたくさん努力をされていてとても嬉しいよ (alegrarse de que)。

8. 来週、君たちは未来に向かって一歩を踏み出すだろう。